

法人税 確定申告書 (年分・平成〇〇年〇月〇日 事業年度分・平成△△年△月△日) に係る

税理士法第33条の2第1項に規定する添付書面

33の2①

		※整理番号				
税理士又は 税理士法人	氏名又は名称	税理士 国税 太郎 ⑨				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
書面作成に 係る税理士	氏 名	税理士 国税 太郎 ⑨				
	事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
	所属税理士会等	東京 税理士会 〇〇支部 登録番号 第 〇〇〇〇〇号				
税務代理権限証書の提出		<input checked="" type="checkbox"/> (法人税・消費税) ・ 無				
依 頼 者	氏名又は名称	株式会社 〇〇商事 代表取締役 〇〇 一郎				
	住所又は事務所の所在地	東京都千代田区霞ヶ関〇-〇-〇 電話 (03) 〇〇〇〇 - 〇〇〇〇				
私 (当法人) が申告書の作成に関し、計算し、整理し、又は相談に応じた事項は、下記の1から4に掲げる事項であります。						
1 自ら作成記入した帳簿書類に記載されている事項						
帳簿書類の名称		作成記入の基礎となった書類等				
依頼者が自ら起票した仕訳伝票に基づき、コンピュータ処理により作成した仕訳帳、総勘定元帳、試算表、貸借対照表及び損益計算書 期末整理の会計伝票のみ当方作成		会計伝票、預金通帳、証憑書綴、給与台帳、請求書 控、請求書				
2 提示を受けた帳簿書類 (備考欄の帳簿書類を除く。) に記載されている事項						
帳簿書類の名称		備 考				
該当なし		該当なし				
※事務 処理欄	部門	業種	意見聴取連絡事績		事前通知等事績	
			年月日	税理士名	通知年月日	予定年月日
			・ ・		・ ・	・ ・

3 計算し、整理した主な事項

(1)	区 分	事 項	備 考
	貸付金利息	従業員に対する貸付金が期末現在×××, ×××円あり、貸付金利息を期末にて未収計上した。利率は借入金の平均調達金利〇%で、月々の実質残(借入差引)にて計算した。	証書借入明細書
	借入金利息	(株) F に対する利息 期末にて×××, ×××円の借入金があり、借入金利息を期末にて未払計上した。	貸付(借入)残高、利率について税理士が検討・確認しており、調査省略等の参考となる。
	債務免除益	債権放棄通知書、取締役会議事録により、益金の計上時期、免除額について誤りがないか確認した。	債権放棄通知書 取締役会議事録 事業内容及び収入金額について具体的に説明されており、税理士がよく検討・確認していると認められ、調査省略等の参考となる。
(2)	(1)のうち顕著な増減事項		増 減 理 由
	売上高	業務委託契約書により、あわせて契約金額と業務内容との適合性を検討し、当期の売上高について適正な処理がなされていることを確認した。平成〇年〇月末をもって契約解除になっており、今期の売上は〇月までの〇ヶ月間であり、×××, ×××万円×〇ヶ月の×××, ×××万円である。	
	原価科目	厚生費は、社員の非課税通勤手当である。 法定福利費は、前期途中より加入した社会保険料の会社負担分である。	
	債務免除益	(株) A より過去の未払金に対する債権放棄があり、債権放棄通知書により債務免除益を計上したことによる。	
(3)	(1)のうち会計処理方法に変更等があった事項		変 更 等 の 理 由
	該当なし		該当なし

※整理番号

4 相談に応じた事項

事 項	相 談 の 要 旨
債務免除益	<p>株Aに対する買掛債務について、株Aより債権放棄があり、その税務上の取扱い、処理について相談を受けた。</p> <p>債権放棄を受けた場合、債務免除益として益金に計上すること、債権放棄通知書、議事録等の書類の保存等、税務上の取扱いについて説明し助言した。</p>

債務免除益計上に係る具体的な相談内容が記載されており、調査省略等の参考となる。

5 その他

総合所見

毎月の監査時に取引内容をチェックし、仕訳の誤りがあればその都度指導し、修正させています。また、決算に当たっては改めてすべての損益科目と、資産、負債科目について内容を検討しました。

以上の検討の結果、提示を受けた帳簿書類の範囲において、法人の記帳は事実に基づいて行われ、申告書も法令の規定に即して作成していると認められます。